

第5学年○組 学級活動学習指導案

福岡市立○○小学校
情緒障がい通級指導教室
指導者 ○○ ○○

1 題材名

「友達の輪をつくろう」 ～○○○教室の友達に出会ったら～

2 指導観

- 本題材は、クラスの苦手さを持った子や通級児に出会った時の関わり方を理解し、適切な接し方ができるようにすることを主なねらいとしている。

具体的には、①有名人にも苦手さがあることを通して、だれもが得意なことや苦手さを持っていることを知ること、②苦手さのある人との関わり方を考え、適切な接し方をしようとする、③クイズを通して、○○○教室のことを知り、通級児とも適切な関わり方をしようとするものである。

この題材を通して、将来的には、社会には様々な不自由さを持って生活している人がおり、その人たちに対して協力や支援が必要であることを理解することにつながっていくと思われる。

- 本学級の児童は、5年生になるまでに人権学習や特別支援学校の子どものとの交流学习で障がいを持った子どもについての学習は経験している。また、○○○教室のことを紹介している「リーフレット」を通して、担任の先生や保護者から○○○教室についての説明を聞いている。しかし、説明の仕方などは、担任や保護者に任せていたので、児童一人ひとりの理解には差があると思われる。

3 本時目標

- 誰もが苦手さを持っていること、通級児も苦手さを持っていて○○○教室に来ていることを理解できるようにする。
- クラスの苦手さを持った子や通級児に出会ったときの関わり方を理解するとともに適切な接し方ができるようにする。

4 本時指導の考え方

- 本題材の指導に当たっては、有名人の苦手さを知ることを通して、だれでも得意なことや苦手なことがあることを理解させていきたい。さらに、苦手さのある人との関わり方を考えることを通して、どのように接すればいいかを理解させていきたい。

導入においては、有名人にも苦手さがあることを知り、だれにでも得意なことや苦手なことがあることを理解させるようにする。

展開においては、自分にはどんな苦手なことや得意なことがあるかを書かせたり発表し合ったりすることを通して自分のことを考えさせるようにする。また、苦手なことをしているときに言われて嫌だったことやうれしかったことを発表し合うことを通して、どんな関わり方をしたらいいかを理解させるようにする。

終末においては、○○○教室についてクイズ形式を取り入れることで、楽しい雰囲気を作るとともに、どんな人が○○○教室に来ているのか興味を持たせるようにする。また、○○○教室に来ている子どもたちにも苦手さがあることを知り、その子たちとの関わり方を考えることで、クラスの苦手さを持った子どもへの関わり方や通級児への関わり方を理解させるとともに、適切な接し方ができるようにさせたい。

5 準備

- ・板書の掲示
- ・偉人の顔の絵
- ・福岡市の白地図
- ・ワークシート

6 本時の展開

学習の流れ	主な教師の発問○ 留意点*	予想される児童の反応
<p>1 本時の学習について知る。 「友達の輪をつくろう」</p> <p>2 どんな有名人にも苦手さがあつたことを知る。 トム・クルーズ 黒柳徹子 エジソン アインシュタイン</p> <p>3 だれにでも得意なこと苦手なことがあることを知る。</p> <p>4 苦手さのある人との関わり方を考える。</p>	<p>○今日は、みなさんと一緒に「友達の輪をつくろう」の学習をしたいと思います。</p> <p>○今からみなさんに、ある人物の子どもの頃のお話を聴いてもらいます。それが、どの人物のお話を当ててもらいたいと思います。今日お話しするのはこの人物です。</p> <p>○この人はだれか知っていますか。 *人物の確認をする。</p> <p>○では、1人目の子どもの頃のお話をします。この人は子どもの頃～でした。さあこの人は誰でしょう。</p> <p>○こんな才能のある有名な人たちにも苦手なことがあつたんだね。みんなにも得意なこと好きなこと苦手なこと嫌いなことがあると思います。それをプリントに書いてください。 *教師の子どもの頃の得意なこと苦手なことを紹介する。 *書き終わったら机を班にして友達のいい所を教えてあげるよう促し交流させる。</p> <p>○書いたものを発表してください。 *苦手なこと得意なこと両方答えさせる。</p>	<p>予想される児童の反応</p> <p>・知ってる</p> <p>・運動は得意だけど計算は苦手です。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なんでもできる・なんでも得意なんて人はいないと思います。みんな誰にでも、好きなこと得意なこと、嫌いなこと苦手なことがありますね。</p> </div> <p>○苦手なことをしているとき、こんなふうに関わってもらえて嬉しかったことってなかったかな。</p> <p>○苦手なことをしているときに言われて嫌だったことはなかったかな。</p>	<p>・「がんばれ」と言われたとき嬉しかった。</p> <p>・手伝ってもらったとき嬉しかった。</p> <p>・「へたくそ」と言われたとき嫌だった。</p> <p>・「早くしろ」と言われたとき嫌だった。</p>
<p>5 ○○○教室の友達について知る。</p>	<p>○○○小学校には、1年生から6年生までと○○○教室がありますね。今度は、○○○教室についていくつかクイズを出すので答を当ててみてください。</p> <p>○○○○教室には何人の友達が来ているでしょう。(三択)</p> <p>○○○○教室には何区から来ているでしょう。(三択)</p>	<p>・48人も来ているなんて知らなかった。</p> <p>・福岡市の全ての区から来ているなんて知らなかった。</p>

	<p>〇〇〇〇教室に来ている友達についてお話をします。</p>	
<p>6 〇〇〇教室の友達との関わり方について考える。</p>	<p>〇〇〇〇教室のお友達にあったらどうしたらいいかな。 *机はそのまま近くで友達と意見を交流する。 ○意見を発表してください。</p> <p>*あいさつが無くても返事をするのが苦手な子もいることを伝える。そっとしておく。</p>	<p>〇〇〇〇教室の友達も、みんなと同じように得意なことや苦手なことがあります。みんなも苦手なことで困ることがあると思うけれど、〇〇〇〇教室の友達は学校生活でとても困っています。そこで、普段は、みんなと同じようにクラスで勉強して週に1回〇〇〇〇小学校に来て、〇〇〇〇教室の先生と自分にあった勉強（苦手なことができるように、得意なことは伸ばせるように）をしているのです。</p> <p>・あいさつする。 ・困っていたら手伝う。 ・友達になる。</p>
<p>7 本時のまとめ</p>		
<p>・「今日の学習で」を書く</p>	<p>〇今日の学習で分かったこと、思ったこと、もっと聞きたいと思ったことを書いてください。</p>	

板書計画

